

## 香川県立志度高等学校定時制課程 閉課程式

### 閉課程式次第

- 1 開 式 の 言 葉
- 2 国 歌 斉 唱
- 3 校 長 式 辞
- 4 香川県教育委員会挨拶
- 5 来 賓 挨 拶
  - ・ 同 窓 会 挨 拶
  - ・ 同 窓 生 代 表 挨 拶
- 6 生徒代表惜別の言葉
- 7 記念植樹・プレート披露
- 8 校 歌 斉 唱
- 9 閉 式 の 言 葉

平成25年3月1日（金）午前11時30分より、平成24年度末をもって閉課程となる本校定時制の閉課程式が、本校コミュニティ広場において厳かに執り行われました。当日は曇天にもかかわらず、ご多用の中、香川県教育委員会、香川県議会をはじめ御来賓の皆様、同窓生・旧職員の皆様、本校PTA関係者・教職員合わせて70名近い方々に御臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

式では、砂留修司校長が「昼間の仕事を終え、夜間、学校で学ぶことは大変な苦勞であったが、その苦勞が地域社会や地元産業を支えてきた。その忍耐力と努力は敬意を払うに値する。」と述べ、「本校定時制の誇りある伝統を創って来られた全ての方に衷心より敬意を払うと共に、築き上げた輝かしい伝統は全日制でしっかりと受け継ぎ、本校の更なる発展を図る。」と式辞を結びました。



閉課程式出席者



校長式辞



教育委員会挨拶



同窓会挨拶

続いて、同窓生代表として挨拶をした第1回卒業生の宮本英一様は、「4年生の秋祭りの日に法被で登校し、お酒も入っていて先生からお叱りを受けたが、『地域の大切な行事だから秋祭りに専念せよ』との計らいに、一同大喜びした」と思い出を語り、「当時の熱き思いは、胸中で燃え続けている。私たちは、本校卒業生としての誇りと自覚をもって、今後の人生を歩んで参りたい。」と締めくくりま



同窓生代表挨拶



卒業生代表惜別の言葉

また、卒業生代表の大隅優さんは、「私にとって志度高校定時制は学校であると共家庭でもあり、かけがえのない場所でした。この場所で多くの人と出会い、多くのことを学び、多くの夢を育みました。志度高校定時制で出会った仲間とともに、学んだこと、育んだ夢を忘れることはありません。」と最後の誓いを述べ、惜別の言葉を締めくくりました。



第1回卒業生・職員等による土入れ



御来賓の皆様による土入れ



最後の卒業生による土入れ



記念プレートの披露

この後、同窓生・旧職員等で『なつつばき』を植樹し、記念プレートが披露されました。この『なつつばき』は、最後の卒業生 5 名が選んだものです。また記念プレートは銅製で、『定時制閉課程記念樹 なつつばき』の文字と定時制の沿革が記されており、本校電子機械科に製作していただきました。校長から「記念プレートはこの後、記念樹横に設置して、記念樹を定時制の名残として大切に育てていきたい。」との意向が表明されました。

最後に、出席者全員で校歌を声高らかに斉唱し、閉課程式を終了しました。

式典の準備・進行に際しまして、ご協力いただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。



記念写真

